

第 1 号

10月27日(月)

令和7年第2回宇城市議会臨時会（第1号）

令和7年10月27日（月）
午前10時00分 開議

1 議事日程

- 日程第1 会議録署名議員の指名
日程第2 会期の決定
日程第3 議案第74号 令和7年度宇城市一般会計補正予算（第4号）

2 本日の会議に付した事件

議事日程のとおり

3 出席議員は次のとおりである。（18人）

1番 林 田 和 君	2番 津志田 幸 紀 君
3番 坂 元 大 介 君	4番 四 海 公 貴 君
5番 河 野 真 理 君	6番 吉 良 邦 夫 君
7番 田 中 美 君 君	8番 嘉古田 茂 己 君
9番 原 田 祐 作 君	10番 永 木 誠 君
11番 山 森 悅 瞽 君	13番 坂 下 勳 君
14番 大 村 悟 君	15番 高 橋 佳 大 君
17番 河 野 正 明 君	18番 豊 田 紀 代 美 君
19番 中 山 弘 幸 君	20番 石 川 洋 一 君

4 欠席議員（2人）

12番 三 角 隆 史 君 16番 園 田 幸 雄 君

5 職務のために議場に出席した事務局職員の職氏名

議会事務局長 星 津 章 博 君 書記 三 村 修 司 君

6 説明のため出席した者の職氏名

市 長 末 松 直 洋 君	副 市 長 天 川 竜 治 君
総務部長 木見田 洋 一 君	市長政策部長 亀 井 誠 君
福祉部長 岩 井 智 君	経済部長 浦 田 敬 介 君
土木部長 平 木 恵 一 君	総務部次長 米 田 年 宏 君

市長政策部次長 田川大輔君 福祉部次長 平松洋介君
経済部次長 池田真一君 土木部次長 嶋津吉禮君
財政課長 田尻勇樹君

開会 午前10時00分

-----○-----

○議長（豊田紀代美君） ただいまから、令和7年第2回宇城市議会臨時会を開会します。

これから本日の会議を開きます。

-----○-----

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（豊田紀代美君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本臨時会の会議録署名議員は、会議規則第87条の規定により、3番、坂元大介君及び4番、四海公貴君の2人を指名します。

-----○-----

日程第2 会期の決定

○議長（豊田紀代美君） 日程第2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。本臨時会の会期は、本日の1日にしたいと思います。御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（豊田紀代美君） 異議なしと認めます。したがって、会期は本日1日に決定しました。

-----○-----

日程第3 議案第74号 令和7年度宇城市一般会計補正予算（第4号）

○議長（豊田紀代美君） 日程第3、議案第74号令和7年度宇城市一般会計補正予算（第4号）を議題とします。

市長から、提案理由の説明を求めます。

○市長（末松直洋君） 皆さんおはようございます。本日の臨時会の開催、大変お世話になります。

今回提出いたしますのは、予算案件として、令和7年度宇城市一般会計補正予算（第4号）について1件、以上の1件になります。詳細につきましては、総務部長が説明いたします。

これらの議案につきまして、よろしく御審議くださいますようお願い申し上げまして、提案理由の説明といたします。

○議長（豊田紀代美君） 提案理由の説明が終わりました。

これから、議案第74号令和7年度宇城市一般会計補正予算（第4号）の詳細説明を求めます。

○総務部長（木見田洋一君） 議案第74号令和7年度宇城市一般会計補正予算（第4

号)について御説明いたします。資料は、別冊の令和7年度宇城市各会計補正予算書、宇城市一般会計補正予算(第4号)の1ページをお願いいたします。

まず初めに、予算の総額について説明いたします。

第1条、歳入歳出予算の総額にそれぞれ31億8,966万5,000円を追加し、予算総額を434億7,797万4,000円としています。

また、第2条及び第3条で繰越明許費と債務負担行為をそれぞれ追加し、第4条で地方債の変更を併せて行っております。

補正の概要につきましては、8月豪雨災害に伴います災害復旧等関連予算となります。先の補正予算編成後に生じた状況の変化に対応し、被災した公共施設等の復旧、被災者の生活支援等に係る事務を速やかに行うものとなります。

2ページをお願いいたします。第1表、歳入歳出予算補正です。2ページが歳入、3ページが歳出予算となります。款と項の区分ごとに各費目において、紙面のとおり補正しており、主な内容につきましては、事項別明細書にて後ほど御説明いたします。

次に、4ページに移ります。第2表、繰越明許費補正です。1追加で、現年度発生農業用施設補助災害復旧事業ほか2件を紙面のとおり追加しております。災害査定後に復旧工事を速やかに実施していく予定ですが、年度末までの期間では適正な工期が確保できないため、次年度に繰り越す限度額をそれぞれ定めるものです。

5ページをお願いいたします。第3表、債務負担行為補正です。1追加で、農業制度資金利子補給補助金ほか1件を追加しております。複数年にわたり利子補給補助金の交付決定を行うに当たり、次年度以降の債務を負担する必要があるため、その期間と限度額をそれぞれ定めるものです。

6ページに移ります。第4表、地方債補正です。1変更で、農林水産施設災害復旧事業費ほか1件の限度額を紙面のとおり変更しております。災害復旧事業費の財源とする市の借入金となります。

続いて、歳出の主なものと特定財源について御説明いたします。

11ページをお願いいたします。事項別明細書の3、歳出となります。

款2、項1、目1一般管理費で2,903万9,000円を増額しております。節2給料の一般職給料364万2,000円は、災害復旧に伴う土木技術職員の不足を補うために任用する任期付常勤職員2人分の給料となります。節18負担金補助及び交付金の中長期派遣職員等協定負担金は、災害復旧従事職員として他の自治体に派遣を求めている5人分の給与費負担金となります。

同じく目6企画費で87万4,000円を増額しております。豪雨災害からの復旧の取組を効率的また効果的に推進するために行いました10月1日付けでの人事

異動に伴いまして、空き家対策事業に関する人員が不足するため、会計年度任用職員1人分の人事費等を計上しております。

12ページに移ります。款3、項8、目1災害救助費で709万6,000円を増額しております。節12委託料の地域支え合いセンター運営業務委託料は、豪雨災害の被災者が、それぞれの環境の中で安心した日常生活を営むことができるよう、応急仮設住宅の供与期間中に孤立防止の見守りや、日常生活上の相談業務を行うとともに、被災者を関係機関へつなぐための支援を行うものです。

財源は、国の生活困窮者就労準備支援事業費補助金で2分の1が賄われる予定となります。

次に、款5、項1、目3農業振興費で1億9,300万円余を増額しております。節18負担金補助及び交付金の農業制度資金利子補給金38万1,000円は、被災した農業者に対し、資金繰りに必要な運転資金の融通を円滑にするため、被災農業者が借り入れる資金について、金利負担の軽減措置を行うものです。

同じく強い農業・担い手づくり総合支援事業補助金1億1,400万円余は、豪雨により農作物が冠水した被災農業者が行う種子や苗などの生産資材の再調達経費や、追加的な施肥・消毒等に要する費用の一部について補助を行うことで、早期の営農再開を支援するものです。前回の補正予算で計上したトマトなどの農作物に加え、今回はショウガなどの農作物を増額しております。

財源は、県の強い農業・担い手づくり総合支援事業費補助金で全て賄われる予定です。

また、同じく農地利用効率化等支援事業補助金7,905万円は、豪雨により農業用機械や施設設備が冠水した被災農業者が行います修繕・復旧費用の一部について補助を行うことで、早期営農再開を支援するものです。前回の補正予算に、国の支援制度が新たに創設されたことに伴います補助率増高や、いぐさ専用機械の修理等に対する追加支援メニューを加え、増額するものです。

財源は、県の農地利用効率化等支援事業費補助金で7割程度が賄われる予定となっております。

続いて、款6、項1、目3商工振興費で176万円を増額しております。節18負担金補助及び交付金の中小企業等金融円滑化利子補給補助金は、被災した市内の中小企業等の復興を図るため、熊本県金融円滑化特別資金や日本政策金融公庫資金を利用した中小企業等に対し、借入資金について金利負担の軽減措置を行い、経営の安定を図るものとなります。

次に、13ページをお願いいたします。款10、項1、目1農業用施設災害復旧費で15億円余を増額しております。被災した農地・農業用施設の国災害査定や

測量設計に要する費用が不足するため増額するものです。節14工事請負費の農地災害復旧工事費2億1,500万円と農業用施設災害復旧工事費4億3,500万円は、災害復旧工事として本年度に行うことができる災害箇所全体の3割程度の工事費を増額しております。

財源は、県の農業用施設災害復旧費補助金が50%から65%、受益者分担金が14%から30%、残余につきましては、市債の災害復旧事業債を発行し賄う予定としています。

節18負担金補助及び交付金の農地小規模災害復旧事業補助金は、激甚災害に指定される場合に限り支援するものです。被災した農地において、補助災害復旧事業の対象とならない復旧額13万円以上40万円未満の小規模なものうち、所有者等が行う自力復旧に要する費用の65%を支援する補助金となります。

財源は、市債の災害復旧事業債を発行し賄う予定といたしております。

続いて、目3治山施設災害復旧費で1,100万円を新たに増額しております。節12委託料の測量設計業務委託料は、豪雨による山崩れなどの山地災害を復旧するための委託費となります。

財源は、市債の災害復旧事業債を発行し賄う予定といたしております。

次に、14ページに移ります。款10、項2、目1公共土木施設災害復旧費で14億4,500万円余を増額しております。節12委託料の測量設計業務委託料5億5,000万円の増額は、被災した道路・河川施設の国の災害査定や測量設計に要する費用が不足するため増額するものです。節14工事請負費の道路災害復旧工事費3億4,100万円と河川災害復旧工事費3億700万円は、災害復旧工事として本年度に行うことができる災害箇所全体の6割程度の工事費を増額しております。

財源は、国の公共土木施設災害復旧費負担金が3分の2、残余については、市債の災害復旧事業債を発行し賄う予定といたしております。

続いて、歳入予算の説明をいたします。主な特定財源は歳出予算で説明いたしましたので、一般財源の主なものを中心に御説明いたします。

9ページをお願いいたします。事項別明細書の2、歳入となります。

款12、項1、目1地方交付税で、特別交付税を2,650万5,000円増額しております。災害復旧等に従事する任期付常勤職員等の雇用や派遣職員、また空き家対策、地域支え合いセンターの運営に係る経費について、国から財政措置がなされるものとなります。

10ページをお願いいたします。款20、項2、目1財政調整基金繰入金で1,922万5,000円を増額しております。歳出総額に対し、歳入総額が不足する

額の財源調整を当該科目で行っております。

以上で、議案第74号の説明を終わります。

○議長（豊田紀代美君） 議案第74号の説明が終わりました。

これから議案第74号の質疑に入ります。質疑はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（豊田紀代美君） 質疑なしと認めます。

お諮りします。ただいま議題となっております議案第74号は、委員会付託を省略したいと思います。御異議ございませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（豊田紀代美君） 異議なしと認めます。したがって、議案第74号は委員会付託を省略することに決定しました。

これから、議案第74号の討論に入ります。討論はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（豊田紀代美君） 討論なしと認めます。

これから、議案第74号令和7年度宇城市一般会計補正予算（第4号）を採決します。採決は、押しボタン式投票によって行います。議案第74号は、原案のとおり可決することに賛成の方は賛成ボタンを、反対の方は反対ボタンを、それぞれ押してください。

(ボタンを押す)

○議長（豊田紀代美君） ボタンの押し忘れはございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（豊田紀代美君） 押し忘れなしと認め、確定します。

賛成全員です。したがって、議案第74号令和7年度宇城市一般会計補正予算（第4号）は原案のとおり可決しました。

-----○-----

○議長（豊田紀代美君） 以上で、本日の日程は全部終了しました。

会議を閉じます。

令和7年第2回宇城市議会臨時会を閉会します。

-----○-----

閉会 午前10時17分

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

宇城市議会議長

会議録署名議員

会議録署名議員

付 錄

令和7年第2回臨時会 賛否一覧表

○:賛成 ●:反対 欠:欠席 除:除斥 売:棄権

議員名 件 名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	審議結果	賛成	反対
	林田和	津志田幸紀	坂元大介	四海公貴	河野真理	吉良邦夫	田中美君	嘉古田茂己	原田祐作	永木誠	山森悦嗣	三角勲	坂下悟	大村佳大	高橋幸雄	園田正明	河野紀代美	豊田弘幸	中山洋一				
議案第74号 令和7年度宇城市一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

※議長のため表決には加わりません